

## 台湾へ感謝を

震災から5年、多くの支援をいただいた台湾へ感謝を伝え、さらなる交流



国際旅行博見学  
東北交流促進



旅行会社訪問  
東北交流促進



企業訪問  
震災支援感謝

「ありがとう台湾」を伝えよう&台湾をもっと知ろう  
スタディーツアーレポート

2016年5月22日～25日



## ありがとう台湾

「震災から5年、多大な支援をいただいた台湾にありがとうを伝えよう！そしてより繋がっていこう」を目的に、東北のインバウンド促進を進めるアトラク東北（株）と（株）ライフブリッジにて企画。現地コーディネイトとしてファブリッジ協力のもと、民間主体にて今回のツアーを行った。3泊4日の行程にて、震災時支援をいただいた企業、団体を訪問し感謝を伝えた。また滞在中開催されていたアジア最大級の国際旅行博（TTE）も見学し東北へのツアー状況を視察。

そのほか日本ツアーを組む現地旅行代理店を訪問し、東北ツアーへの感謝を伝えるとともに、東北への来客促進に向けて意見交換を行った。



## 訪問

- 5月22日（日）台北国際旅行博覧会 東北ブースへ  
 5月23日（月）高雄市市政府 経済開発局訪問  
 中鋼公司訪問（鉄鋼会社）  
 南紡夢時代 訪問（ショッピングモール）  
 5月24日（火）五福旅行社 台南分公司訪問  
 東南旅行社/大興旅行社訪問  
 5月25日（水）Acer 訪問  
 財団法人台湾仏教慈濟慈善事業基金 訪問

参加者は東北から、旅館、バス、旅行、観光プロモーション、民泊事業に関わる6名が参加。初日はアジア最大の旅行博を見学。東北ブース視察や日本ツアーの状況視察を視察。東北のツアーはまだまだ少ないことを確認。2日目からは震災時支援をいただいた企業や団体を訪問。高雄市市政府ではより積極的な東北との交流促進に向けて、ビジネス交流を始め高雄エリアへの直行便も視野する案など大胆かつ積極的な意見交換を行った。ショッピングエリアでもある南紡夢時代には日本企業（特に飲食）の出店も多く見られ、現地海鮮レストランなども人気などからアジア圏への東北の豊富な食の海外市場の可能性のヒントにもつながった。日本へのツアーを展開している旅行会社からの共通した見解は、東北には北海道にも負けない雪や温泉をはじめ魅力的なコンテンツがあることは承知しているが、直行便の少なさ、現地手配に関し他エリアより高くなるため、ツアーが組みづらいこと、また販売しても市場の反応が薄いなど率直な意見を伺う。反面個人旅行者の増加は多くなっていることから、そこにしかない魅力を継続的に発信していくことの重要性互いに確認。後日改めて仙台空港を中心にした体験プログラムを充実させたツアー案の提案を行うこととした。どの企業、団体を訪れても震災時日本への多大な支援に関しお礼を述べると「日本は兄弟だから当たり前」と答える台湾の方々の暖かさにふれ、今後また定期的に訪問ツアーの開催、東北の現状をみていただくためのツアー造成など展開していくこととした

台湾ツアーに関する問い合わせ

アトラク東北株式会社 担当後藤光正

電話022-211-2085 メール[goto@a-tohoku.com](mailto:goto@a-tohoku.com)

台湾インバウンドに興味がある方もお問い合わせください。

台湾の方々の温かい心に触れる



参加者からそれぞれ訪問先へ感謝の品の贈呈や互いのますますの交流を目指し意見交換などを行った。旅行会社訪問時には、仙台、一関エリアの具体的な体験プログラムの提案などもこなった。今後震災支援のおかげでいま復興が進んでいるエリアの現状をみていただくツアーにも着手したい。